

# 事業評価シート（平成24年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	事業系ごみ多量排出者に対する減量化指導事業		
事業担当	環境部 循環型社会推進課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'03	③〈循環型社会〉循環型社会をめざして環境負荷の少ない暮らし方を定着させる	
	'02	2 ごみの排出を抑制し、資源化を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	事業者	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
事業系ごみ多量排出者に対する減量化指導を行うことにより、ごみ発生量が減少して資源化量、リサイクル量が増えています。		ごみ減量化のため、事業系ごみ多量排出者に対し、発生量の抑制、資源化、リサイクル等の減量化の指導を行います。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	多量排出事業者指導件数				単位	件
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	62	59	56	55		
	実績	59	59	62			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	多量排出事業者排出量削減率				単位	%
	説明・算定式	前年度実績と比較した削減率					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	2	2	2	2		
	実績	7	-3	-23			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成24年度の主な取組と成果							
多量排出者に「減量化等計画書」等の提出を求め、実績及び計画書の確認等を行いました。平成24年度以前からごみの排出量が多かった排出者については、「減量化等計画書」の提出や対話等により、ごみの発生抑制や資源化に対する意識付けに効果がありました。							
平成24年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	多量排出者に対し、指導し、計画を策定させて減量化に努めさせることは、ごみの発生抑制、資源化に必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	継続的に多量排出者に対し、指導し、計画を策定させて減量化に努めさせることは、ごみの発生抑制、資源化に有効です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	多量排出者に対し、指導し、計画を策定させて減量化に努めさせることは、事業の目的であるごみの発生抑制、資源化に対して妥当です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	多量排出者に対し、「減量化等計画書」等の確実な提出を求めています。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		「減量化等計画書」に基づいて、事業者と現場確認を行い、排出抑制、資源化、リサイクル化等でごみ減量の可能性を検討していく必要があります。		

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		多量排出者に対する指導	多量排出者に対する指導	多量排出者に対する指導	多量排出者に対する指導
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0
執行率 (%)		—	—	—	
内訳	職員 (人)	0.50	0.50	0.48	0.50
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		4,130	4,052	3,848	3,974
フルコスト (A+B)		4,130	4,052	3,848	3,974

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針	前年度との比較等を行い、多量排出者が抱えている問題の解決に向けて検討をしていきます。また、排出現場への立入を実施し、排出抑制、資源化、リサイクル化についての指導、助言を行います。
課長コメント	事業系ごみの減量促進に取り組みます。